

令和4年度 シズケア*かけはし普及拠点推進事業 報告会

「ワーキンググループの取組から 見えてきた新たな機能の活用法」

静岡県医師会 シズケアサポートセンター
(静岡県地域包括ケアサポートセンター)

シズケア*かけはし「見守り機能」等活用推進ワーキンググループ(第1回) ～活用可能なケースの洗い出し～

対象者	登録のきっかけ	活用の場面やねらい
・認知症見守りSOSネットワーク登録者	・SOSネットワーク登録時	・あらかじめ対象者の顔写真を登録しておき、所在不明による検索時に活用 ・発見後の家族への連絡
・災害時避難行動要支援者	・市町の広報 ・関係者からの声掛け	・避難指示が出た際の避難状況の確認 ・発災後の状況の確認 ・避難先での服薬情報等の把握
・フレイルと判定された方	・通いの場や医療機関でのフレイル検査実施時	・フレイル該当者の事業への参加状況等の確認 ・事業参加の効果の検証
・非課税世帯が対象の生活支援サービス利用者	・生活支援サービスの申請時	・配食サービス等日常的な見守りでの情報共有
・放課後デイサービス利用者 ・医療的ケア児	・放課後デイサービス利用の申請時 ・関係者からの声掛け	・対象者の身体状況等の確認や気付きの共有
・一定年齢以上の高齢者	・市町の広報 ・関係者からの声掛け	エンディングノートの記載内容をデータ化して登録 ・救急搬送の可否の判断 ・対象者の意思表示が困難な場合における医療・ケアの意向の確認
・運転の危ない高齢者 ・認知機能検査の低得点者	・家族からの相談時 ・運転免許更新手続き時	・運転免許証返納の働き掛け ・認知症関連サービスへの誘導

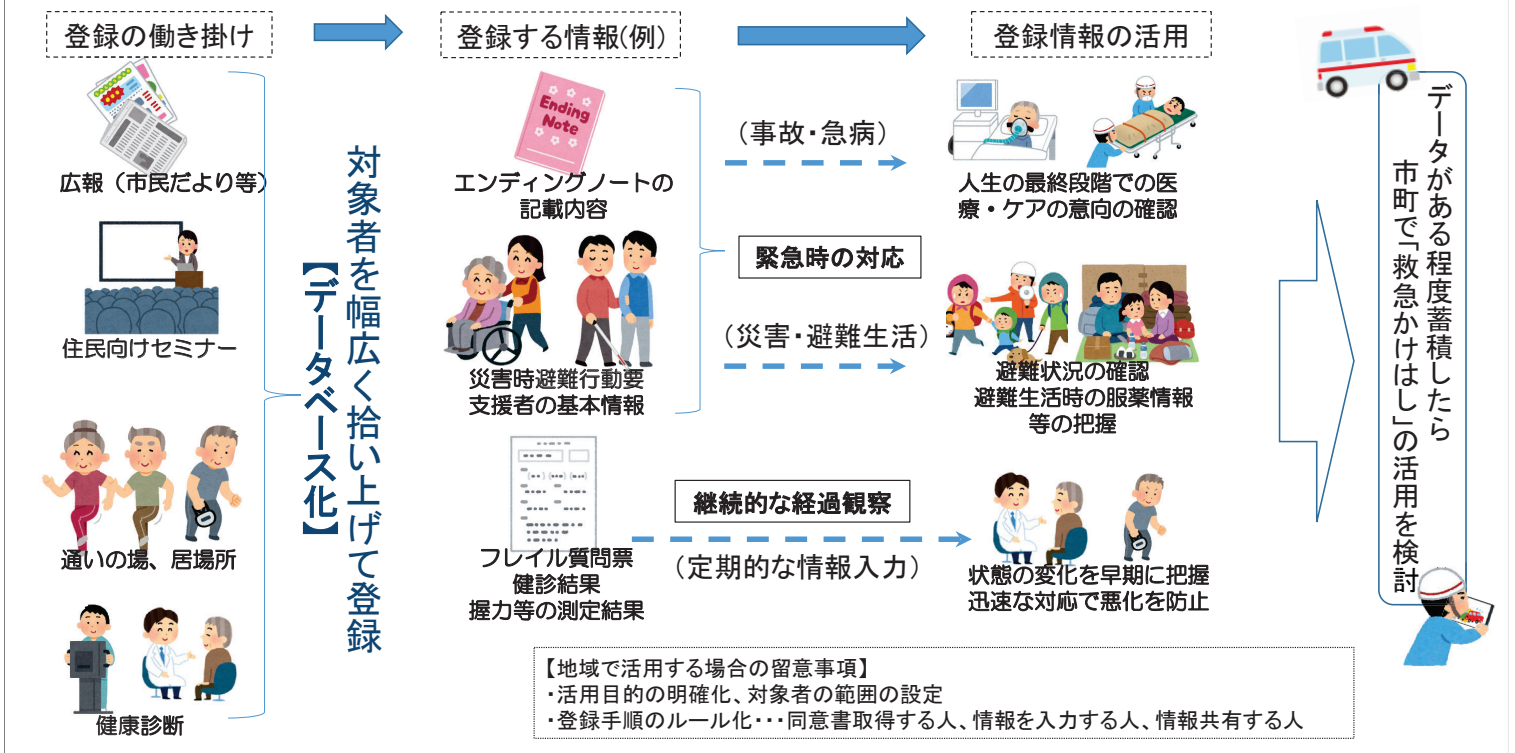
シズケア＊かけはし「見守り機能」等活用推進ワーキンググループ（第3回）
～3地区でのモデル活用のまとめ～

区分	沼津医師会(裾野市)	富士市医師会(富士市)	焼津市医師会(焼津市)
テーマ	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(介護予防・フレイル予防)	高齢者の見守り(在宅での生活状況の把握)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(フレイル疑いの方の抽出)
対象者	地区サロン参加者全員	入院・外来の患者とその家族(在宅での生活にリスクを抱える方)	診療所での生活機能チェックの結果、「フレイル疑い」となった方
同意書取得	市役所	病院	診療所
情報の入力	市役所	富士市医師会	焼津市医師会
情報を共有する関係者	裾野市(介護保険課・国保年金課) 地域包括支援センター ※ 見守り機能活用	病院 富士市高齢者支援課 地域包括支援センター 富士市医師会 ※ 見守り機能活用	診療所(主治医) 焼津市地域包括ケア推進課 地域包括支援センター 焼津市医師会 ※ 見守り機能活用
活用のポイント	データベースとしての活用 ・介護予防・フレイル予防の予備軍を広く登録し、経年変化を追跡 ・介護サービス利用への円滑な移行 ・将来的な救急かけはしの活用	ハイリスクの方への迅速な対応 ・在宅生活継続のための即応的な支援 ・介護サービス利用への円滑な移行	介護・認知症予防への医師の関与の促進 ・対象者の継続的なフォロー ・医師へのフィードバック ・介護サービス利用への円滑な移行
課題	情報入力の手間	同意書取得の手間	同意書取得の手間

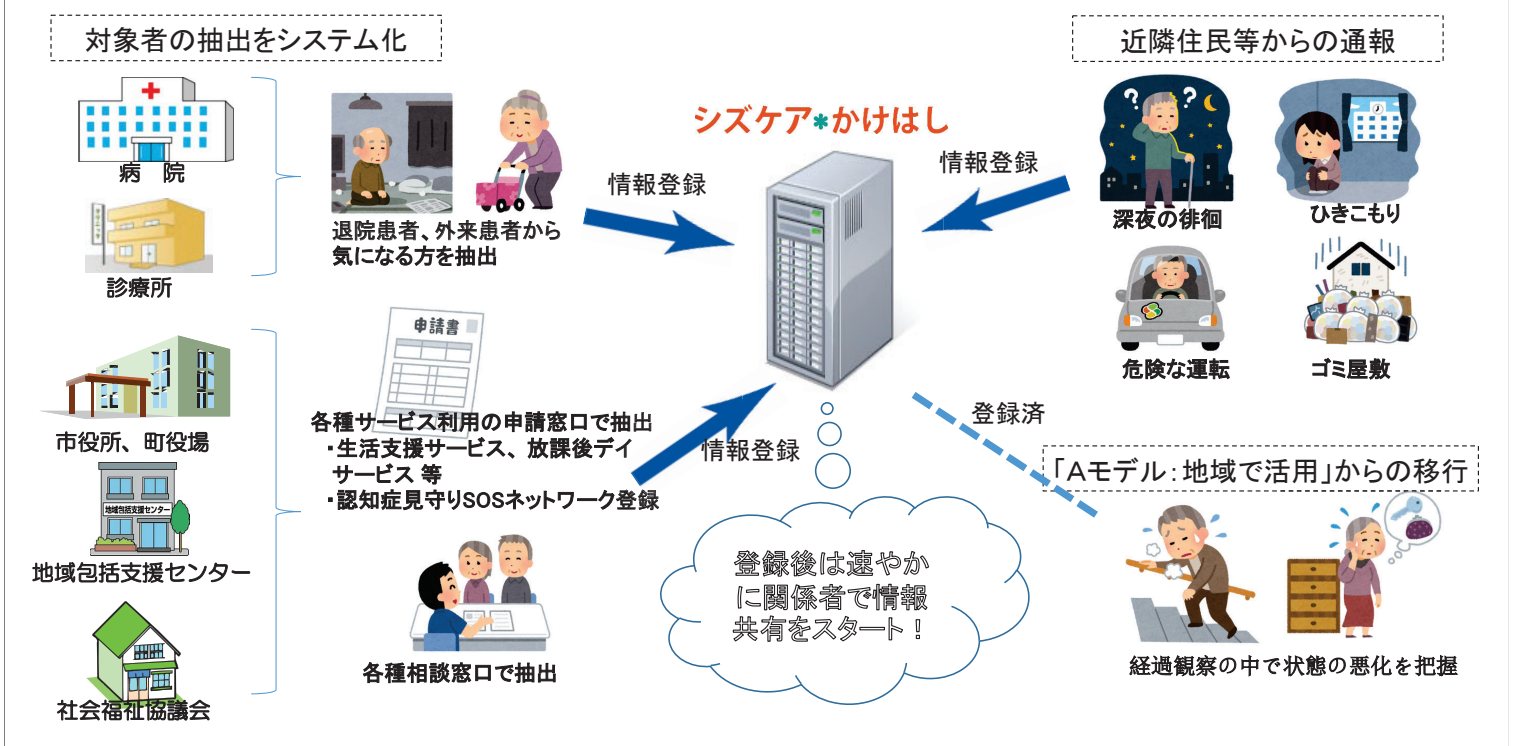
モデル活用から見えてきた「見守り機能」の活用 ～2つのモデル～

区分	Aモデル(地域で活用)	Bモデル(個別に対応)
アプローチの対象	地域住民	個人(本人・家族)
時間軸	中・長期的 ⇒ 将来への備えとして	リアルタイム、即時 ⇒ 現在進行中の問題への対応 ⇒ 近い将来ほぼ発生確実なリスクへの対応準備
活用の目的	データベース化、リスト化	即応的な情報共有
活用の主体	市町行政 地域包括支援センター	対象者に関わるすべてのユーザー
活用の効果	ちょっと気になる方の継続的な経過観察 ⇒ 状態の変化を早期に把握し、迅速な対応により悪化を防止	日常生活で発生する様々な問題に対し、迅速に対応 ⇒ 対象者の在宅生活の継続、QOLの向上
モデル活用実施主体	沼津医師会 (焼津市医師会)	富士市医師会 (焼津市医師会)

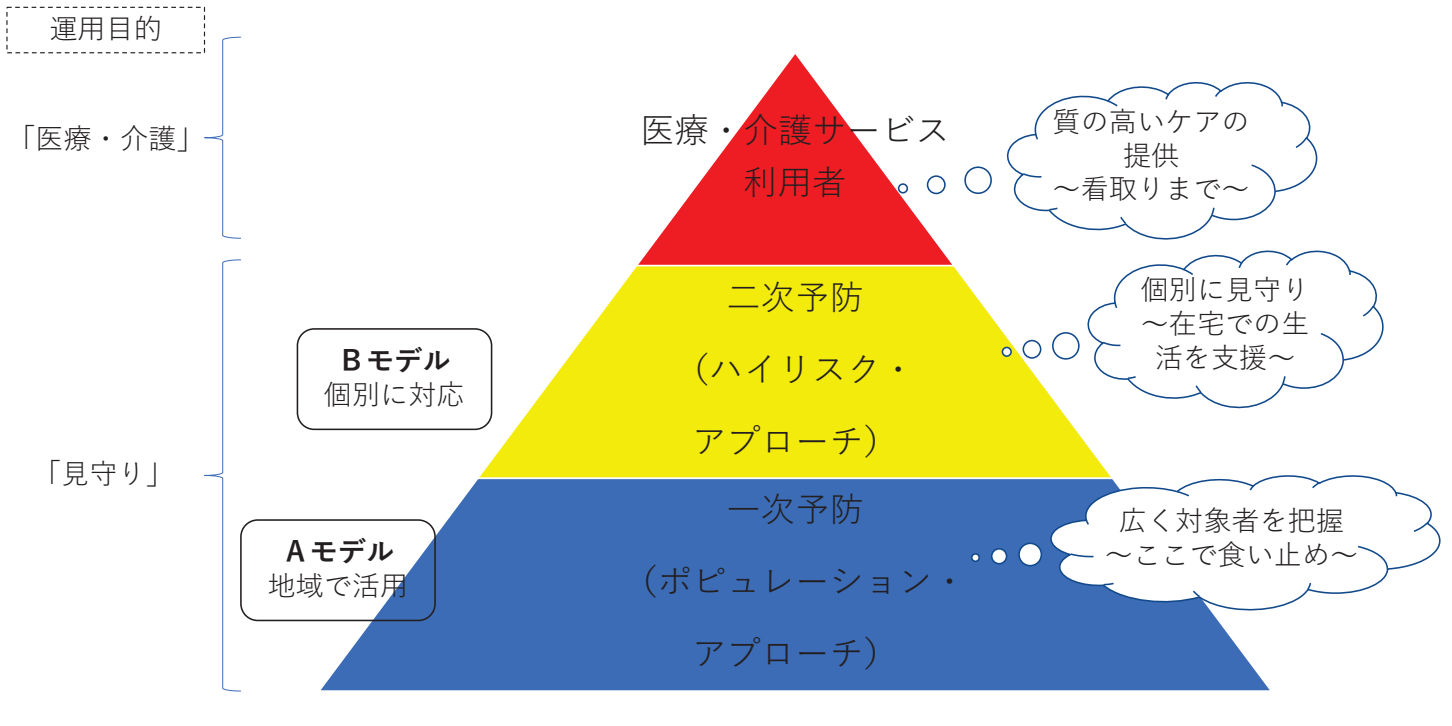
「Aモデル:地域で活用」のポイント ~データベースとして活用~



「Bモデル:個別に対応」のポイント ~高リスクの対象者の情報を日常的に共有~



「運用目的と対象者の関係」イメージ



モデル活用から見えてきた課題と対応（その1：情報入力の手間）

入手した書面をデータ化してシステムに取り込むのが面倒

・・・「FAX送付用カバーシート」の存在をご存じですか？

専用シートの必要箇所に記入し、2枚目以降に書類をつけてFAX送信

見守り情報（運用目的：見守り）や提供情報（運用目的：医療・介護）として登録され、チーム員が参照することができます

パソコン操作の苦手な人も安心！

【対象者情報の画面】

基本情報のタブ内にある三本線をクリックし、「FAX送付用カバーシートダウンロード」を選択

【FAX送付用カバーシート】

【「FAX送付用カバーシート」の入手方法】

- ①「ポータル」画面→「情報共有システム」をクリックします。
- ②「情報を見る」をクリックし、「対象者一覧」画面を表示。
- ③対象の方を検索し、右端の「開く」をクリックします。
- ④基本情報のタブ内にある三本線をクリックし、「FAX送付用カバーシートダウンロード」を選択し、ダウンロード下さい。

モデル活用から見えてきた課題と対応（その2：同意書の取得）

「見守り」を目的としたシステム利用は同意書の取得が難しい



運用目的		同意書取得の際の説明	取得の難易度
医療・介護		サービス提供に当たり、関係者で情報を共有してサービスの質を高めたい	比較的容易
救急搬送		急病や事故、災害等、もしもの際に登録された情報を活用して救命等につなげたい	比較的容易
見守り	A：地域で活用	これから定期的にデータを蓄積して行って、状態が変化した際に速やかに対応できるようにしたい	比較的容易
	B：個別に対応	「関係者で情報を共有しながら、あなたの様子を見守りたい」とはなかなか言えません・・・	困難

ここで想定される対象者は…
 ・自分自身は特に困っていない
 ・システム利用のメリットを感じない

【今後の対応】

シズケア* かけはしのことが簡単に分かって、同意書の取得を容易とするための『説明用チラシ』を作成します！

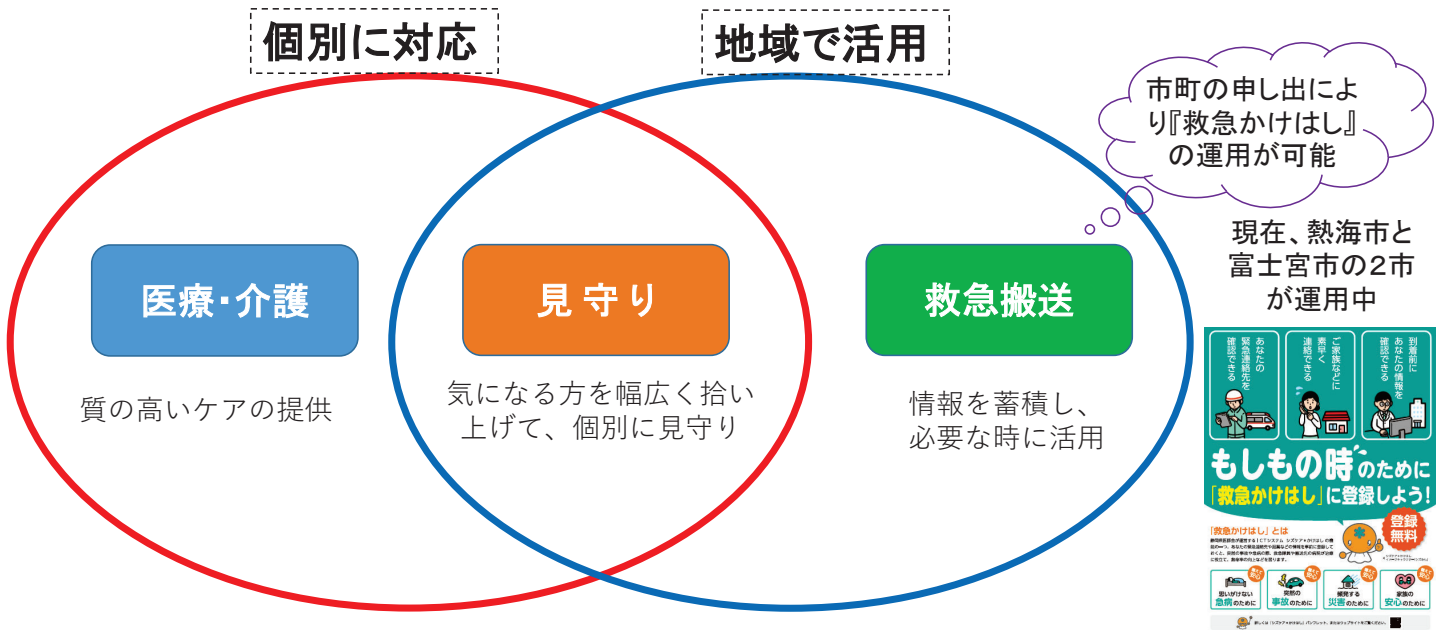
「情報共有システム」のまとめ① ～3つの運用目的／それぞれの特徴～

運用目的	医療・介護	見守り	救急搬送
利用のねらい	チーム員同士の情報提供・共有 	チーム員同士の情報提供・共有 	必要な際の対象者情報へのアクセス 
利用可能な情報	基本情報(閲覧) 提供情報(投稿)	基本情報(閲覧) 見守り情報(投稿)	基本情報(閲覧) 救急情報シート(閲覧) 汎用情報(閲覧) 調剤情報(閲覧)
参照できる人	共有チーム員	共有チーム員	共有チーム員(※) 救急隊員(当該市町で救急かけはし運用時)
主治医の登録	必須	任意	任意

(※)市町は、共有チームに入っていない場合でも当該市町の全ての対象者の登録情報を閲覧できる。

…「救急かけはし」(救急隊と連携した救急搬送時の情報活用)の運用主体となることを想定し、市町のみが付与された特別権限

「情報共有システム」のまとめ② ～3つの運用目的／関係性のイメージ～



「情報共有システム」のまとめ③ ～今後の活用に向けたご提案(対象者登録の考え方)～

○ まずは、手軽に使える「見守り」を積極活用

- ・地域で対象者のピックアップ方法をルール化
⇒当面、関係者間で情報共有の必要が無くとも取りあえず登録
- ・医療・介護サービスの利用者で運用目的を「医療・介護」としたいケースであっても、主治医のチーム登録等に時間を要する場合は、まずは「見守り」で情報共有をスタート
⇒主治医の登録が完了次第、「医療・介護」に移行

○ 「見守り」と「救急搬送」はセットで運用(「救急搬送」に情報を蓄積)

- ・「見守り」で対象者を登録する際、運用目的で初期値となっている「救急搬送」は残しておきます
⇒対象者の同意を得る際は、「救急搬送」を強調した方が比較的スムーズ？
「いざという時の備えとして、念のため登録しておきましょう！」

「医療・介護」でも同様に…

○ いざという時は「救急搬送」の蓄積情報を活かす(そのための市町の特別権限)

- ・「救急搬送」に登録された対象者の情報が増えれば増えるほど、市町としても情報の利用価値が高まります
- ・災害発生時には、市町は「救急搬送」に蓄積された対象者の情報にアクセスし、安否確認や避難生活の支援に活用します

運用目的「医療・介護」活用のメリット ～提供情報『情報種別』に注目！～

シズケア*かけはし 静岡県地域包括ケア情報システム [センター用]診療所 ドクター01でログイン中

ポータル > 最近の更新内容 > 情報を送る (対象者検索) > 送る この画面を閉じる ログアウト

ソウダンイン キョウキョウノミ ID 999999 生年月日 昭和30(1955)年4月5日 (67歳) 医療介護 救急搬送 見守り

相談員 救急のみ 性別 男性 電話番号 054 印刷 印刷取消

基本情報 提供情報 共有チーム情報 情報を送る 救急情報 見守り

情報共有範囲 (必須) (選択してください) ※救急情報の登録は情報種別だけ選択します。

情報種別 (必須) (選択してください)

フラグ (選択してください)

タイトル

メモ

ファイル

01.同意書・同意撤回書
02.診療情報提供書
03.訪問看護指示書
04.指導書
05.計画書
06.訪問看護記録・報告書
07.訪問メモ
08.薬剤情報
09.連絡票
10.画像
11.入院・入退所時文書
96.救急情報
97.共有センター
98.連携ファイル
99.その他

通知メール受信設定済のユーザに通知メールが送信されます。

定型文挿入
定型文保存
クリア

情報を送る

これまでやり取りした情報を項目ごとに抽出することで、経過の確認が容易にできます

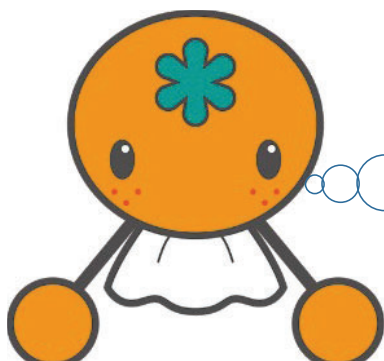
終わりに ～皆様方へのお願い～

まだまだ眠っている効果的な活用方法があるはず・・・

「こんな使い方はできないか？」

何かアイデアが浮かんだらシズケアサポートセンターにご相談ください

・・・一緒に活用方法を検討いたします



シズみん: 本年1月に商標登録をしました！

まだまだ『シズケア*かけはし』は成長途上にあります。もっともっと大きく育つためにどうか皆様の力をお貸しください！